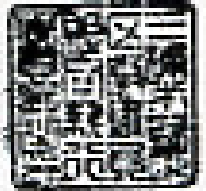


2003年7月15日

横須賀市市長  
沢田秀男様

## 美術館建設に関わっての要望書

三浦半島地区教職員組  
執行委員長 芹沢秀



現在、市制百周年事業の一環として計画されています「美術館」の建設について、市内の学校教育の現場で教育に関わる者として、建設推進の立場から、よりよい美術館建設が図られますよう以下のとおり要望いたします。

美術館の建設にあたっては、横須賀芸術劇場が、一流の音楽・演劇等芸術に触れる機会を拡大し、市内の芸術関係者、音楽関係者にとっての貴重な発表の場所として活用されていることを踏まえること。とりわけ市内各学校の吹奏楽・合唱等の発表の場所としても、一般の演者と同じ場所に立てるということで、大きな喜びと誇りを持つ場所となっていることにならうような建設計画となることを期待します。

是非とも、新「美術館」においても、学校教育のさまざまな場面で活用できるものとなるよう、以下の観点を盛り込むことを要望します。

- ① 学校教育にとって利用しやすいものとなるよう、利用料金・交通手段等の条件整備をはかること。
- ② 美術館独自のカリキュラム（造形プログラム・鑑賞プログラム・ギャラリーツアー等）を編成し、子どもたちの美術教育の発展に寄与すること。
- ③ 参加体験型（ワークショップ方式）の展示を多くし、子どもたちにとって親しみやすい展示コーナーを設けること。
- ④ 展示方法についても工夫し、直接触れることができるようなコーナーも設置すること。
- ⑤ 屋内にとどまらず屋外においても、自然を利用したワークショップエリアを設けること。
- ⑥ 年間を通した休日、また夏休み・冬休み等に絵画教室・陶芸教室等の造形講座を企画し、さまざまな年齢の子どもたちが参加できるようにすること。
- ⑦ 子どもたちの作品発表の場所としても、広く利用することが出来るよう配慮すること。
- ⑧ 市内小中学生が必ず一度は見学できるよう具体的な方法について検討すること。
- ⑨ 市内教職員の研修場所としても活用されるよう技術講習教室・鑑賞プログラム等の企画も検討すること。
- ⑩ 上記全体に関わって、「障害」児への配慮をすること。

以上要望いたします。